

平成 29 年度第 1 回麒麟のまち創生戦略会議議事概要

日 時：平成 29 年 4 月 18 日(火) 午前 10：00～ 11：00

場 所：鳥取市役所本庁舎 6 階全員協議会室

出席者：鳥取市長、鳥取市副市長、岩美町副町長、若桜町長、智頭町長、八頭町長、香美町副町長、新温泉町長

1 開会

2 議題

○広域観光振興事業について《鳥取市》資料 1

○麒麟のまち関西情報発信拠点のオープンについて《鳥取市》資料 2

○平成 29 年度地方創生推進交付金(第 3 回)を活用した連携事業について《鳥取市》資料 3
意見・質疑応答

《八頭町長》 構想の推進期間が平成 29 年度から 33 年度とあり、目標値は 34 年度となっている。期間の最終年度に合わせるべきではないか。

《鳥取市》 目標値の平成 34 年度については、平成 30 年度に DMO 設立稼働が開始される。その 5 年後ということで平成 34 年度という目標値を掲げている。

《鳥取市長》 来年の春立ち上げとのことだが今年度の DMO の具体的な動きは決まっているのか。

《鳥取市》 今年度中に DMO の形を作ると考えており、候補法人のネットワーク協議会と準備段階の調整中。各町と上半期までに事業計画を詰め、30 年度発足。予算的なことや DMO の専門人材の配置もある。また個別については各町に報告する。

《八頭町長》 重点ターゲットの若年層と訪日外国人について、ターゲットはこれだけでよいのか。全般に目を向けるべきではないか。

《鳥取市》 ここで若年層と示しているのは、若年層にアタックすることによって今後の観光事業を上げられる可能性がある。訪日外国人は、インバウンドの需要をこの地域にも向けていきたい。重点ターゲットということで他の層に目を向けていないわけではない。

《若桜町長》 これだと限定しているように感じる。表現を変えた方がいい。計画書の若桜・氷ノ山のスキー場は見たこともない写真。ここは観光地なのかかわからない。写真 1 枚でも大事なのでこだわらないといけないと思う。

《鳥取市副市長》 おっしゃるとおりで全体的に人が写ってない。賑わいが見えない。

《鳥取市》 おっしゃる通り。賑わいがない。申し訳ない。

《鳥取市副市長》 1 市 6 町のそれぞれから観光関係の方が集まり、作ったということなので、想いが入っているのは間違いないと思う。ちなみにコンプリートでなく、見直しながらしっていくということか。

《鳥取市》 そのとおり。今後も PR を進めていく上では各地域の効果的な PR に繋がるような写真であるとか配慮しながら、させていただけたらと思う。

《鳥取市副市長》 策定委員は策定が終わったら解散ではなく検証するのか。

《鳥取市》 そのとおり。また DMO の立ち上げにあたっては、委員の意見をいただき

ながら、グランドデザインを具体的に進めていくための会議になるが、仕切り直しはさせていただきたいと思う。せっかく意見も頂いてまとめているので進めていく上でも委員にお手伝いいただきながら進めていきたい。

《鳥取市副市長》グランドデザインに沿って動いていくが、その中でも観光 DMO が来年の春に設立を目指し動きが活発になっていくと思う。今の策定委員会もメンバーとして参画しながらより具体性のあるものに仕上げたいと思う。民間主導で動きが行われる DMO を、連携しながら取り組んでいきたいと思っている。

○連携中枢都市圏の形成について 《鳥取市》資料 4

《鳥取市副市長》想定される連携事業を各市町からアイデアを募り、現段階で取りまとめた。

《八頭町》これはまだ途中ということか。

《鳥取市副市長》想定される連携事業である。

《鳥取市長》比較的今年度からでも取り組めそうな事業があれば、可能なところから進めてもいいと思う。例えば今 1 市 4 町でしているのを 1 市 6 町にするのは早い段階でも可能なように思う。パスカードは難しいが、圏域で使えるようになれば利便性が非常に向上すると思う。

《若桜町長》15 番の古民家は結構すぐできると思う。最近古民家の需要もあり、いいものが沢山出ている。

《鳥取市副市長》連携事業を考える中で連携して協定等を結んでいった方がいいならば、そのような形で進めるということでご確認いただけたらと思う。

《若桜町長》各町の麒麟獅子が、数年に 1 回デモンストレーションをしても面白いと思う。

《鳥取市副市長》ありがとうございます。日本遺産の方も 4 月が認定かわかる時期で、待っている状況。

確認いただいたということで。

3 その他 《鳥取市》

鳥取空港の鳥取東京間の 5 便維持のため利用者増の取り組みについて協力をお願いしたい。

4 閉会